

伊賀市社協だより

令和8年6月1日発行

No.243

6月号



みんなの声がつなく じぶんのまちと伊賀の未来

市内39地区の地域福祉ネットワーク会議と社協が共催し、昨年6月から行政と協働で実施したワークショップのご意見を反映し、「第5次伊賀市地域福祉計画」と「第5次伊賀市地域福祉活動計画」を策定しました。(2～3頁参照)



上野東部



上野西部



上野南部



小田



久米



八幡



花之木



長田



新居



三田



諏訪



府中



中瀬



友生



猪田



依那古



比自岐



神戸



きじが台



古山



花垣



ゆめが丘



柘植



西柘植



壬生野



島ヶ原



河合



鞆田



玉滝



丸柱



山田



布引



阿波



阿保



上津



博要



高尾



矢持



桐ヶ丘

課題解決ができる 伊賀市の実現をめざして

第5次伊賀市地域福祉活動計画（2026～2030）が完成しました

第5次伊賀市地域福祉活動計画では、わたしたちの身近な生活課題のうち、特に取り組みが必要となっている12の課題を明らかにし、実現したい社会とそのため取り組みを記載しています。これらの課題を解決し、目標を達成するためには、ボランティアやNPO、団体や専門職等関係機関、事業所、企業など多様な主体のみなさんのご協力なくしては実現することができません。ぜひ、関心をお持ちのテーマや、専門分野のテーマについて一緒に考えてみませんか？

第5次地域福祉活動計画の内容は、今後も社協広報あいしあおうでご紹介するほか、出前講座も行いますので、お気軽にお問合せください。▶伊賀市社協 企画調整課 ☎33-0064

第5次伊賀市地域福祉活動計画は、
こちらから見る您可以通过▶



高参加高福祉で 地域生活課題を 解決するって どんなこと？

経済情勢の不安定化や災害の多発、人口減少など、社会の変化が加速する「激動の時代」においては、行政や専門職だけに頼るのではなく、市民一人ひとりが地域の課題を自分ごととして捉え、互いに支え合う地域づくりが求められます。本計画では、「地域で暮らす一人ひとりが地域の一員として関わり合う」ことにより、福祉の力を高めていく「高参加・高福祉」をキーワードに、多様な主体の参画を得ながら地域生活課題の解決に取り組み、地域福祉を基点としたまちづくりを推進します。

⑤ 生活困窮



「誰もが衣食住の保証があり、生活困窮から脱することのできる社会の実現」

⑥ 住まい



「高齢・障がい・貧困・外国籍等で住まいを確保できない人をなくす」

⑦ 親なき後



「障がい者とその家族が『親なき後』を日本一安心して迎えられる社会の実現」

⑧ 認知症の人の 権利擁護



「判断能力の変化に関わらず、本人の意思と権利が保障され、生活基盤と財産が安定的に守られる社会の実現」

⑨ 死後事務困難



「死後の事務を託せる先がなく、不安や困難を抱える人をなくす」

⑩ ひきこもり



「社会復帰を望む全てのひきこもり状態にある人が、その願いを形にできる社会の実現」

⑪ 買い物・ 受診困難



「高齢や障がい等で移動に困難を抱える住民が『日常生活に必要な買い物や病院受診』をできる社会の実現」

⑫ 認知症の人の 行方不明



「認知症を原因とする行方不明による死亡者をゼロにする」

激動の時代を「高参加・高福祉」で 地域生活

地域福祉活動計画って?

市の地域福祉計画の方向性に基づいた、地域福祉の活動・支援の実践計画です。

●第5次伊賀市地域福祉活動計画では、以下のSDGsの目標達成に取り組めます●



▼わたしたちの身近な12の生活課題と、実現したいテーマ

① 子どもの貧困



「伊賀市のすべての子どもが、生まれ育つ環境に左右されることなく、食事、教育、生活必需品、医療、体験、生活環境、心の拠り所など、育つためにあって然るべき環境を得られる社会の実現」

推計1,200人の伊賀市の子どもたちの貧困問題 支援の空白にいた子どもたちへの介入

公的支援の充実により一定の支援は届くようになりましたが、サービスに自力でアクセスできない家庭の子どもには依然として不足が見られ、早急な対応が必要です。

- 重点活動**
- ① 子どもに直接アプローチできる子ども支援拠点の運営強化
 - ② あるべき支援が届かず、危機にある子どもへの直接支援
 - ③ 子どもを支える「世帯の力」を高める、家族機能向上支援

② 孤独・孤立



「望まない孤独・孤立のない社会の実現」

孤独・孤立は世界で1日約2,400人の命を奪う、深刻な健康リスク。問題に正面から向き合う先進対策とは。

孤独・孤立問題は家族・友人等の関係の希薄化や地域活動の弱体化などさまざまな課題に関連しており、解決に向けてより効果的なポイントを中心に対策を行っていく必要があります。

- 重点活動**
- ① 孤独・孤立の深刻さを理解する広報・啓発活動
 - ② 隠れた孤独・孤立を見つける発見のしくみづくり
 - ③ 積極的に解決に導くための介入のしくみづくり

③ 災害



「災害時要配慮者の逃げ遅れゼロと、被災者の安心・安全及び早期日常生活復帰の実現」

災害のたびに繰り返される“逃げ遅れ”支援の空白に踏み込む、伊賀市の防災対策活動

要配慮者の犠牲が多く、また避難生活が過酷なものとなっている背景には、逃げ遅れや避難生活、早期生活復帰などに関する課題や対策が十分に講じられていないことがあると考えられます。

- 重点活動**
- ① 平時から支え合うための見守り声かけのしくみづくり
 - ② 逃げ遅れを防ぐための、要支援者参加型地区災害避難訓練の実施
 - ③ 要支援者が円滑に避難・生活できるための事前避難の普及と環境整備

④ 地域活動運営



「地域活動団体の運営基盤強化と活動の活性化」

地域団体の8割が人手不足、3分の1が財源不足！ 地域活動の継続が危ぶまれる現状

活動が困難になる原因に、活動・運営の担い手や資金の不足、組織運営上の課題、活動拠点、その他新たな活動の生まれにくさなどが考えられます。

- 重点活動**
- ① 持続可能な地域活動のための運営のコツを学ぶブックレット作成
 - ② 地域団体の運営や活動を支える地域団体伴走支援活動
 - ③ 地域生活課題への関心と理解を育む住民向け勉強会

③ 地域福祉コーディネーターは三郎さんの地域に出向いて、地域のいいところやこれからのまちづくりへの意見を出し合うワークショップを開催しました。

未来の地域が住みやすい理想のまちとなるよう、みなさんで今から取り組んでみませんか。

若い人も高齢の人も、それぞれができることを持ち寄って支え合える地域になったら、これから先も住み続けやすいまちになりそうだな。

地域福祉
コーディネーター

三郎さん

地域の
みなさん

地域活動団体

の運営基盤強化と活動の活性化を支援しています。

※地域によって取り組みの内容は異なります



地域団体の想いを形にできるよう、運営や担い手確保などの活動をサポートします！

地域福祉 ネットワーク会議

地域生活課題を把握・共有し、解決に向けた検討を進めます。
(市内全地区 39 箇所で開催)



学び

世代間交流

世代を超えた交流や体験が、地域の元気につながります。



若い世代や女性など 多様な人の参画

多様な世代や立場、想いのある方が活動に参加できる仕組みにより、新たな活動が生まれるかもしれません。



活動

プロボノの活用

企業や専門職のみなさん、専門性を活かした地域貢献活動をしてみませんか？



生活課題住民勉強会

地域課題を学ぶ機会を通じて、活動者の育成や新たな担い手づくりにつなげます。



交流



専門家による運営・ 事業相談

助成金の獲得や活用など、活動に必要な相談をしてみませんか？

地域の居場所・活動拠点づくり

介護予防活動や生活支援、多世代の居場所など、地域活動団体の拠点づくりを支援します。



たくさんの方々の参加を得ながら、ひとりひとりがしあわせに暮らせるまちづくり「高参加・高福祉」を目指して、社会福祉協議会はさまざまな支援をします！



「生活の困りごと、一緒に解決します！」

ふだんのくらしの中で起こっている、さまざまな地域生活課題。
私たちは、みなさんと一緒に解決していく方法をお手伝いしています！

事例 住みなれた地域の活動が継続できるかが心配な三郎さんの場合

1 今年から、初めて地域の役員になった三郎さん。自身が子どもの頃と比べてご近所の付き合いが少なく、なんだか元気がないように感じています。

昔は地域でしょっちゅう集まる機会があったり、ご近所付き合いも活発やったけどな。最近では人手不足もあって、地域行事も縮小せざるをえない状況やわ。

他の地区の役員



三郎さん



確かに。地域に子どもも少なくなってきたし、他の地域でも同じ悩みを聞いたなあ…

2 三郎さんから、担当の地域福祉コーディネーターに相談がありました。地域活動の継続が危ぶまれると、さまざまな生活課題が起こることが想定されます。

まだ今はなんとかかなってるけど、10年後20年後はわしらも生きてるかどうかわからんし、どうしたものかなあ。

三郎さん



地域福祉コーディネーター



なるほど。持続可能な地域づくりは大切ですものね。

わたしたちの地域が直面している地域生活課題

地域団体の多くが、**担い手・財源の不足**に直面しています。



地域団体のおよそ **8割**が
人手不足と回答



地域団体のおよそ **3分の1**が
財源不足と回答

その他

- 組織体制や運営面での課題、
- 活動拠点の不足
- 新たな地域団体が生まれにくい状況などの原因が考えられます。

地域活動に関するアンケートでは、伊賀市内で地域活動に「不参加」の人が半数を超え、特に **18～39歳の若年層**では **約8割**が参加していない実態がありました。その背景には、「忙しさ」や「参加方法が分からない」などがあり、次世代の担い手不足が課題となっているようです。



生活相談会 & お米無料提供

三重県生活困窮高齢者等支援事業

お米 パントリー



申込受付期間

6月8日 月 8:30~
6月19日 金 17:00

お米5kgと
生活必需品を
お渡しします

申込・お問い合わせ先

伊賀市社会福祉協議会 暮らしサポートセンターおあいこ

☎ 0595(22)0084

- 主催/社会福祉法人 伊賀市社会福祉協議会
- 協力/伊賀市社会福祉法人連絡会・伊賀市民生委員児童員連合会

★この事業は、「三重県生活困窮高齢者等支援事業」補助金および、米農家さんから伊賀市社協への寄付米を活用して実施します。
★同日、三重県社会福祉協議会「生活福祉資金特例貸付フォローアップ支援事業」による生活相談会も開催します。



伊賀市にお住まいの、物価高騰の影響を受け、生活にお困りの**高齢者や子育て世帯など**



日時 2026年 7月19日 日

時間 10:00~16:00

※予約時間制

場所 伊賀市総合福祉会館
駐車場 (平野山之下380-5)

生活のお困りごと、お気軽にご相談ください。暮らしをサポートします。

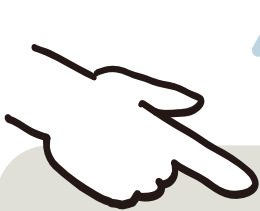


- 申込専用フォームまたはお電話でお申し込みください。抽選の結果は、6月29日以降に郵送でお知らせします。
- 当日、お困りごとの相談もできます。
- 当日来場できない場合は、事前にご相談ください。

▼申込専用
フォーム



事前申込
先着500世帯



「もったいない」を
「ありがとう」に…

ご家庭などで眠っている
食糧のご寄付を募ります!!



FOOD DRIVE

日時

6月15日 月 ~ 26日 金

9:00~16:00

場所

伊賀市社協 各地域センター
(直接持ちこみをお願いします)

生活にお困りの
方への支援に
活用させて
いただきます。

募集

- 常温保存ができる食品（賞味期限が2ヶ月以上あり、未開封のもの）
例）米・レトルト食品（ご飯・おかず等）・缶詰・カップ麺・パスタ・飲料・お菓子など
※賞味期限が明記されていない食品、お酒などの嗜好品は受付できません。（野菜類は要相談）
- 未開封の子ども用紙おむつ、消耗品 例）ティッシュ、トイレトペーパーなど
※時間内のお持ち込みが難しい場合は、ご相談ください。

お問い合わせ先 伊賀市社会福祉協議会

上野地域センター ☎(21)1112 いがまち地域センター ☎(45)1012 島ヶ原地域センター ☎(59)3132
阿山地域センター ☎(43)1854 大山田地域センター ☎(47)0780 青山地域センター ☎(52)2999

レクリエーション・イベント用品貸出

伊賀市社協会費や、共同募金配分金等を活用して、地域福祉活動を行う団体等へイベントやレクリエーション用品を無料で貸出します。

ふれあい・いきいきサロンや世代間交流事業等のレクリエーションや地域行事等のイベントにご活用ください。

【貸出備品】レクリエーション・イベント用品（社協ホームページ参照）

ホームページ参照



【申込方法】 利用日の3か月前より、先着順に受付。

【貸出先】 原則として、自治会・区・住民自治協議会、民生委員児童委員、ボランティア団体、学校、当事者団体、ふれあい・いきいきサロン等の地域活動団体

【貸出対象とならない事業】

① 市外で行う事業（林間学習・キャンプなど）

② 営利を目的とする事業

③ 反社会的勢力または公益を害する恐れがあると認められる団体・事業

【貸出・返却に関する留意事項】

① 貸出・返却時の備品の搬入出は、借入者が行う。

② 使用後は清掃し、すぐに貸出できる状態で返却する。

③ 貸出備品の使用により紛失、又は破損した場合は、修理費用等を使用団体が負担する。（ボランティア活動保険加入団体は、保険対応可）

【利用料金】 無料

【申込先】 伊賀市社協各地域センター

福祉・保育の仕事をお探しの方に
令和8年度 第1回 **inみえ**
福祉の就職フェア
出展法人 43ブース (予定)
※事前申込締切 7月10日(金) ※当日参加も可
日 時 令和8年 7月12日(日) 13:30~15:30
会 場 三重県総合文化センター 文化会館2階 第1ギャラリー (津市一身田上津部田 1234) ▼チラシ ▼事前申込
主催/三重県社会福祉協議会 ☎059-227-5160

介護職員初任者研修（通学）受講生募集

旧ホームヘルパー2級と同等の資格で、生活援助と身体介護の両方のサービスを提供できる資格です。

【応募要件】 三重県に住居登録をしている概ね70歳未満で介護業務に就労していない方、研修修了後、概ね3か月以内に県内の介護職場等へ就労する誓約ができる方など。※詳細はホームページ参照

【定員】 60名(応募者多数の場合は抽選)

【受講料】 テキスト代5,720円

【受講内容】 講義・実技・修了試験

【職場体験】 2日(県内高齢者施設)

【説明会日時】 説明会は参加必須(事前申込必要)。

またオンライン参加可。

第1回 6月20日(土)・第2回 7月5日(日) いずれも13時30分~15時

【募集期限】 7月21日(火) 消印有効

【研修期間】 8月8日(土)~令和9年1月23日(土) ※うち通学24日

【申込・連絡先】 説明会申込フォームか電話で申込。

申込フォーム

三重県福祉人材センター ☎059-2227-5160 (平日9時~17時)

ひまわりあんしん事業・弁護士電話相談(無料)

三重弁護士会では、日本弁護士連合会の基本方針の下、高齢者及び障がい者の方々の権利擁護の実現、司法アクセス障害の改善、高齢者及び障がい者問題分野の弁護士業務の確立を目指し、「ひまわりあんしん事業」の一環として、高齢者の無料電話相談を実施します。

【日時】 祝日を除く第2・第4金曜 午前10時~12時

【電話相談】 ※相談専用特設電話 ☎059-2228-13167

【相談担当】 三重弁護士会高齢者・障害者支援センター所属弁護士

【相談対象】 65歳以上の高齢者本人、その家族 ※相談内容は、65歳以上の高齢者本人の問題に限ります。

【電話相談開設日】
令和8年 6月12日・6月26日・7月10日・7月24日・9月11日・9月25日・10月9日・10月23日・11月13日・11月27日・12月11日
令和9年 1月8日・2月12日・2月26日・3月12日

※いずれも金曜午前10時~12時

【相談に関するお問い合わせ】

三重弁護士会事務局 ☎059-2228-2232

数字で見る伊賀市の福祉

令和8年3月末現在(前月比)

伊賀市の人口	▶ 82,685人 (-312人)		
伊賀市の世帯数	▶ 40,502世帯(+66世帯)		
65歳以上高齢者数	▶ 28,580人 (-10人)	高齢化率	▶ 34.5%(+0.1%)
75歳以上高齢者数	▶ 16,970人 (+16人)	後期高齢化率	▶ 20.5%(+0.1%)
介護保険認定者数	▶ 6,079人 (-33人)		

あなたのまちの ふれあい・いきいきサロン

No.228



「どんぐりサロン」は、令和6年6月に民生委員が中心となって立ち上げた、木興町のいきいきサロンです。当初は月1回でしたが、現在は月2回、集いを開催しています。

サロン開催時には、移動販売車による買い物の機会があることも特徴の一つです。お買い物リストを手に購入される方や、どの商品がおいしいか参加者同士で情報交換される方もおり、実用性と楽しさが一体となっています。サロンの内容は、ストレッチ体操や脳トレ、作品作りやビンゴゲーム、音楽療法、茶話会、お誕生会など多岐にわたっています。地域福祉コーディネーターから、防災に関するクイズを交えながら、災害に対する備えなどについて一緒に学びを深める機会もありました。

どんぐりサロン
メンバー数 / 25人
開催場所 / 木興町市民館
開催頻度 / 月2回



代表の山口さんは、「人と人がつながって、笑顔が増えた方もおられ、私自身もうれしいです。サロンが、お互い気にかけてくれる地域づくりの一助となるよう、今後も温かいサロンでありたいです。」と話されています。

広告募集中!

「どんな仕事をしたらいいのかわからない」「仕事の探し方がわからない」などの不安がある方



就職相談・各種講座
無料・要予約
不安が和らぐ！
公認心理師の「心理相談」
仕事に
いかに
パソコン講座
6/17(水)~全5回
13:00~15:00

あなたに寄り添いサポートします。ご家族の方も相談に来てください。

15~49歳までの「仕事に就きたいと思っている人とその家族」を応援!

サポステ

☎0595-22-0039

伊賀市上野丸之内500 ハイピア伊賀3階

いが若者サポートステーション

開所日/月~金 9:00~17:00 (土・日・祝・年末年始休)



ご不要車買取ります

年式の古い車
乗らなくなった車

出張買取 査定費用 0円 買取手数料 0円

亀井商事

株式会社 亀井商事
Joy-Auto Service ジョイオートサービス 青山店
伊賀市青山羽根381-27

買取受付ダイヤル **0595-62-3131**

株式会社 亀井商事 長崎所長 2016 <https://www.kamei.co.jp/>



毎月の寄付者募集

1日**33**円からできるサポート

伊賀市社会福祉協議会

私たちは、地域社会を良くするために、制度の狭間となる課題解決に挑戦し続ける団体です。ぜひ、ご寄付という形で私たちの活動を支えてください。

【申込・お問い合わせ先】伊賀市社会福祉協議会
☎21-5866・FAX26-0002

5年前の第4次地域福祉活動計画策定時は、コロナ禍で対面でのワークショップなどが叶いませんでしたが、今期は地域のみならず十分に議論を重ね、将来を見据えた地域福祉活動のあり方を考える計画になっています。ぜひ一度ご覧いただければ幸いです。

編集後記

編集・発行

伊賀市社会福祉協議会

本部	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)5866 / FAX0595(26)0002	
地域センター	上野	〒518-0829 平野山之下380番地5 伊賀市総合福祉会館 1階 ☎0595(21)1112 / FAX0595(21)8123
	いがまち	〒518-1413 愛田 513 番地 いがまち保健福祉センター「愛の里」 ☎0595(45)1012 / FAX0595(45)1050
	島ヶ原	〒519-1711 島ヶ原 4743 番地 島ヶ原福祉センター「清流」 ☎0595(59)3132 / FAX0595(59)3145
	阿山	〒518-1313 馬場 1128 番地の1 阿山保健福祉センター ☎0595(43)1854 / FAX0595(43)1577
	大山田	〒518-1422 平田 656 番地の1 大山田福祉センター ☎0595(47)0780 / FAX0595(46)1165
青山	〒518-0226 阿保 1988 の1 番地 青山福祉センター ☎0595(52)2999 / FAX0595(52)3555	